

【評価シート】

平成 年 月 日 作成 グループ

「地域のまちづくりに関する施策の提案」に関する評価と今後の取組方針

年度	No.	方 策
22	1 3	地域農産物を活かした特産化やブランド化の推進 農業法人の設立と農業の6次産業化
具体的な取り組み		
①ゆずやいちごを利用した特産品の開発 ①地域ぐるみの農業法人化 ②特産品のブランド化 ②農業法人による6次産業化の推進 ③生産・加工・販売までの6次産業化		
取り組み内容		
ゆずやいちごを利用・加工し、付加価値の高い商品開発をめざすとともに、商品のネーミング等にも力を入れ、地域ブランド化を図ることで商品や地域の知名度を向上させる。 また、インターネットや直売所等による販路開拓を通じ、流通コストを削減させることも必要である。 異なる農産物を作っている農家が集まって農業を法人化し、商品の多様化による生産規模の拡大や6次産業化を推進することで、更なる雇用創出の受け皿とする。また、農業法人になるためのノウハウや成功例を参考に、消費者ニーズに対応した柔軟性のある経営方法の検討が必要である。		
3年後までの取り組み		
<input type="checkbox"/> 地域農産物のブランド戦略・推進体制の確立 <input type="checkbox"/> 農業法人の設立(共同経営) <input type="checkbox"/> 付加価値の高い特産品の開発 <input type="checkbox"/> 特産品のブランド化		
評 価		
進捗状況	A (ほぼ)終了 (91～100%) B 順調に推移 (61～90%) C ほぼ順調に推移 (31～60%) D 遅れ気味 (30%以内) E 未着手	
効果(成果)	1 十分な効果が得られている 2 それなりの効果が得られている 3 あまり効果は得られてない 4 ほとんど効果は見られない	
評価の理由・課題		
今後の取組方針		
対処	A 取組みの継続 B 取組みの見直し C 取組みの中止	
見直し・改善点の概要	<input type="checkbox"/> 取組み(何を)『 』 <input type="checkbox"/> 手法・手順(どのように)及びスケジュール(いつまでに)	
想定される実施団体		